

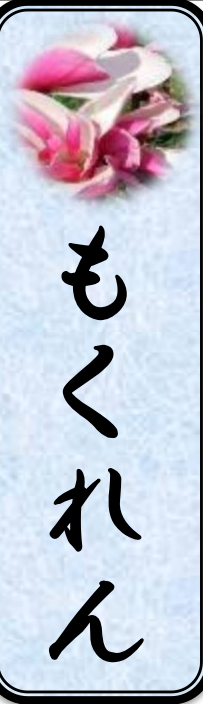
# 第36代連隊長に上原1佐着任

12月1日(金)、初冬の澄みわたる寒風の中、第36代連隊長 上原直樹1等陸佐の着任式を挙行了した。

上原連隊長は着任にあたり、いついかなる任務をも完遂し続ける連隊を育成するため、統率方針に「率先陣頭」を掲げ、全隊員に対する要望事項に「国民の負託に応えよう」「積極果敢に挑戦しよう」「仲間・家族・健康を大切にしよう」の3点を要望した。連隊は、新体制となり、更なる高みを目指し邁進して行く。



観開式で敬礼を受ける上原1佐



発行  
第18普通科連隊  
広報室

ホームページ  
[http://www.mod.go.jp/gsdf/nae/11d/garrison\\_hp/18/18.html](http://www.mod.go.jp/gsdf/nae/11d/garrison_hp/18/18.html)



連隊長統率方針  
「率先陣頭」

# 匠巻の重迫撃砲射撃

重迫撃砲小隊は、11月13日(月)から11月17日(金)までの間、上富良野演習場で実施された令和5年度120ミリ迫撃砲射撃合同訓練に参加し、各種射撃課題を演練して三者連携能力及び射撃速度の向上を図ることが出来た。

引き続き砲床設備の進化を図る等、創意と向上心をもって射撃制度の向上を目指す。



120ミリ迫撃砲射撃

# 平和への想いを胸に

11月4日(土)、札幌市豊平区月寒平和公園に所在する月寒忠霊塔を連隊精神教育として全隊員で参拝した。この納骨塔は昭和9年に建立され、約4千柱の御遺骨と霊璽簿等が納められており、参拝した隊員は、悠久の大儀に殉ぜられた御霊の御遺徳に対し、ただ静かに頭を垂れ哀悼の意を示すとともに郷土部隊の歴史と伝統を受け継ぐ自衛官としての自覚を新たにしました。



忠魂納骨塔に拝礼する本部管理中隊

# 家族会が1日生活体験

11月12日(日)、札幌市自衛隊家族会の依頼により隊内生活体験を実施した。当日参加された24名に対し自衛隊の訓練の一端や装備品の試乗などを体験していただき、参加者からは「隊員と同じような体験ができたのが嬉しく理解が深まった」等の言葉を頂いた。今後も各種行事を通じて自衛隊に対する理解と親近感の醸成を図っていく。



基本教練



装輪装甲車の試乗

# 森さやか氏による講話

11月21日(火)、令和5年度連隊部外講話を実施した。講師に北海道テレビ放送のアナウンサー「森さやか」氏を迎え、「コミュニケーションスキルとアンコンシャスバイアスについて」を演題に講話して頂き、聴講した隊員にとって他業種の一端を知る貴重な経験となったほか知識の涵養として有意義な時間となった。



講話中の森さやか氏

# 訓練隊各種大会で奮闘

11月26日(日)、拳法訓練隊は第20回北海道自衛隊拳法大会に参加した本管中小向3曹が個人戦81kg未満級で38人中第2位の成績を収めた。

また銃剣道訓練隊は第25回象潟奥の細道短剣道大会に参加して3普中 川本2曹が個人戦成年男子の部で38人中第1位、また団体戦成年男子の部において12チーム中第1位の成績を収めた。



短剣道団体戦

3普中 川本2曹  
2普中 関澤3曹  
1普中 太田3曹



本管中 小向3曹